

研究課題名	菌株遺伝子情報、薬剤感受性サーベイランス情報、DPC データを用いた 薬剤耐性腸内細菌科細菌が臨床に及ぼす影響に関する研究
研究責任者名	臨床検査部 播野俊江
研究期間	倫理委員会承認後～ 2022年 3月 31日
対象者	2008年11月から2018年11月の間に、安佐市民病院に入院し細菌培養検査を提出された患者のうち、大腸菌、肺炎桿菌及び <i>Proteus mirabilis</i> が検出された患者。
意義・目的	薬剤耐性菌が予後に悪い影響を及ぼすことは明らかになっていますが、薬剤耐性菌が持つ薬剤耐性遺伝子の種類が予後にどのような影響を及ぼすかは解明されていません。今回、検出された大腸菌及び肺炎桿菌の薬剤耐性遺伝子データと薬剤感受性データ、臨床情報として厚生労働省に提出される治療法、予後等を含んだ DPC データを結合して薬剤耐性遺伝子と治療法、予後にどのような関連があるかを研究します。
方法	本研究は入院の際に作成される厚生労働省へ提出される DPC データを調査して行います。また、研究期間中に検出された大腸菌及び肺炎球菌の薬剤感受性と薬剤耐性遺伝子情報は別途個人情報かわからない形で解析されているものを使用します。DPC データから使用する内容は DPC の様式 1 に含まれる以下の情報(性別、入院情報(入院年月日、入院経路)、退院情報(退院年月日、退院先、転帰)、診療目的・経過、前回退院、再入院調査、再転棟調査、身長・体重、喫煙指数、褥瘡、認知症高齢者の日常生活自立度判定、主病名、入院契機、医療資源、医療資源2、併存症、続発症手術情報、持参薬使用状況、入院時 ADL、退院時 ADL、入院時意識状態、退院時意識状態 Hugh-Jones 分類、肺炎の重症度分類、心不全の NYHA 心機能分類、肝硬変の Child-Pugh 分類、その他重症度分類)です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	広島大学病院 感染症科、国立感染症研究所 薬剤耐性研究センターと共同でデータの統合、解析を行います。
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 感染症科 教授 大毛 宏喜
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。ただし、モニタリングのためプライバシーが保護されることを条件に、研究者から業務委託された者が、あなた個人を特定できる形で診療情報を閲覧することがあります。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒731-0293 広島市安佐北区可部南二丁目1番1号

T e l : 082-815-5211

広島市立安佐市民病院 臨床検査部 播野 俊江